

令和5年度 第2回 厚沢部町総合教育会議録				
招集年月日	令和5年12月14日			
招集場所	厚沢部町図書館会議室			
会議の日時	開 会	令和5年12月14日		午前10時00分
	閉 会	令和5年12月14日		午前10時30分
出席者の数	構成員6名のうち出席者6名			
出席者	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	厚沢部町長	佐 藤 正 秀	委 員	谷 口 智 則
	教 育 長	高 野 政 人	委 員	竹 中 忍
	教 育 長 職務代理者	佐 藤 祐 子	委 員	道 島 康 明
欠席者	なし			
事務局	総 務 財 政 課 長	安 田 光	総務財政課 総務係長	青 柳 秀 和
参 与	事 務 局 長	二 宮 和 之	学 校 教 育 係 長	太 田 聡 子
	主 幹	石 井 淳 平	学校教育係	三 上 裕 介
	指 導 主 事	加 藤 一 義		
付議事件	別紙のとおり			
会議の経過	別紙のとおり			
議事録記載者	教育委員会事務局学校教育係 主事 三 上 裕 介			

付 議 事 件	
議案番号	件 名
議案第 1 号	鵜小学校の厚沢部小学校への統合について

会 議 の 経 過		
開 会		午前10時00分
議案第1号	開 会	総務財政課長
		これより令和5年度第2回厚沢部町総合教育会議を開会します。
		開会にあたり町長より挨拶申し上げます。
	町 長	
		今日から鶉町にハマナスクラブがオープンしましたので、ぜひご利用ください。
		令和5年度 第2回 厚沢部町総合教育会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。
		今年も残すところ約半月となりました。皆様におかれましては、年末のご多忙の中、ご参集いただきましてありがとうございます。
		本日は、鶉小学校の厚沢部小学校への統合について、協議をさせていただきたいと思います。鶉小学校については「学校適正配置計画」に基づき児童数及び複式学級の形態を考慮し、統合の必要性について検討を重ねておりましたが、先日開催されました保護者及び地域説明会で一定の理解を得られたこともあり、統合の時期について、最終確認をさせていただこうと考えております。
		また、今後の小中学校の再編整備の進め方についても、皆様のご意見を聞かせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。
		本日の会議が、関係機関による一層の連携のもと、当町の教育力の向上が図られるよう、心からご期待申し上げ、開会の挨拶といたします。
		本日は、どうぞよろしくお願いいたします。
		総務財政課長
		それではこれより町長の進行により議事を進行いたします。
		町 長
		それでは議事を進行いたします。議案第1号鶉小学校の厚沢部小学校への統合について事務局より説明をお願いします。
	事務局長	事務局長
		それでは議案第1号の鶉小学校の厚沢部小学校への統合について説明します。背景としましては、少子化の影響で近年鶉小学校の児童数が大幅に減少していることや厚沢部町立学校適正配置計画に基づき、教育資源の適切な配分と効率化を目指す理由があります。
		閉校時期については児童数の減少により今後養護教諭及び事務職員が配置出来なくなり、教育の質に影響を及ぼす可能性があることや経費削減の必要性があることから令和6年度末をもって実施します。
		令和7年度より児童に質の高い教育環境を提供し、教育資源を集中させるために厚沢部小学校へ統合します。
		鶉小学校閉校につきましては12月10日の参観日において、全児童の保護者より意見を伺い全員の同意を得ることができました。また、地域住民の皆様につきましても11月15日に鶉地域4地区において説明会を実施し、統合についての同意を得ることができました。
		統合に向けて今後は、事前交流学习や事前登校による児童・保護者の

会 議 の 経 過		
その他	町 長	不安解消に努めます。また、鶺小中学校及び厚沢部小学校相互の教育カリキュラムの調整、鶺小中学校の文化の継承と記録、文化の保存、閉校記念式典の実施、施設の移転計画と設備の再利用検討、鶺小中学校から厚沢部小学校への教職員の再配置計画などが考えられるほか、厚沢部小学校までのスクールバス運用の確立、鶺小中学校区居住児童及び保護者の不安解消をサポートする相談窓口の設置などを行っていきます。
		そのため、令和6年度には統合準備委員会を組織し、総務部、運営部、指導部に分かれて、教職員、保護者、地域住民で統合に向けた諸問題について協議を行っていきます。説明は以上です。
		この説明について、ご意見等ありますでしょうか。
		委員から「ありません。」の声
	町 長	ないようですので、鶺小中学校の厚沢部小学校への統合については承認されました。
	町 長	次にその他について事務局より説明をお願いします。
	事務局長	次にその他であります、厚沢部町立小学校・中学校の統合による義務教育学校の開設について説明します。
		義務教育学校の開設にあたっては今年度6月20日に開催しました第1回総合教育会議にて、厚沢部町立小中一貫推進基本方針において施設一体型の義務教育学校の設置を目指す方針が確認されました。厚沢部町の子どもたちが学びやすい環境、町民と共有する施設を含む一体型の建物を整備することで教育環境の革新と地域社会の活性化を目指します。
		目標としましては、教育の質の向上と多様な学習機会の提供、町民との連携強化と共有スペースの活用、持続可能な施設運営実現であります。
		今後取り組むべき課題としましては、現在各学校で異なっている教育プログラムの統合と義務教育学校のみで実現できる独自カリキュラムの開発、教職員の配置と研修、学校施設のデザインと機能性の最適化、地域社会との連携強化が考えられます。
		また、具体的な検討課題として建設予算とその資金の調達方法についてや厚沢部町としてゼロカーボンを目指すことからの環境負荷を考慮した建築設計、地域産業との連携による教材の開発、学校運営のガバナンス構造などが挙げられます。
		今後の予定としましては、現状分析とニーズ調査の実施、基本構想の計画策定を時間をかけてしっかりと行っていきたいと思っております。
		アンケート調査も実施しましたが回答率が非常に低かったこともありまして、先日、教育長、私、指導主事で行きました安平町の早来学園では事務職員さんの感想を伺うと地域住民の方と半年くらいかけて意見交流や協議を行ってきたそうです。当町においても建設予定地が決まり建て始め

会 議 の 経 過			
開 会	町 長	ると後戻りはできないため、地域住民の方も踏まえてしっかりとしたニーズ調査と計画を時間をかけて行っていききたいと思います。	
		そして計画作成の実施と公開協議を経て施設建設を開始し約1年6か月の時間を要すると考えています。完成は令和9年12月を予定しています。	
		その後、義務教育学校の開校は令和10年4月を予定しております。	
		視察してきました、早来学園では校舎完成から開校までの間にこどもたちが新校舎にてプレ登校を実施し、本格的な開設に向けての準備を進めたようで、その効果が非常によくスムーズな開設となったそうです。	
		今後の予定につきましてはあくまで予定であり、計画の遅れなどにより1年や2年延びる可能性も十分にあります。	
		また、義務教育学校の開設にあたり、統合計画委員会、教育プログラム開発チーム、建築プロジェクトチーム、地域連携チームなどを組織し、よりよい教育環境実現を目指していきます。説明は以上です。	
		総務係長	それでは、この件についてご意見等ありますでしょうか。
		町 長	義務教育学校の開設にあたっては、今の小中学校に通う保護者だけではなく、5年後、6年後に学校に通う保護者の意見も十分に反映してほしいので、そのような保護者に向けた説明会なども今後実施してほしいと思います。
		町 長	町として慎重に進めていかななくてはならないことなので、地域住民や保護者には十分な説明を今後も継続的に行ってほしいと思います。
		教育長	今後また継続して総合教育会議を開催していき具体的な内容を協議して行きたいと思います。
			また、アンケートの回収率が低かったので、より広い意見をいただき、その意見を反映させていききたいと思います。
		町 長	他に、ご意見等ありますでしょうか。
		委員から「ありません」の声。	
	町 長	ないようですので、これで令和5年度第2回厚沢部町総合教育会議を閉会します。	
閉 会	閉 会	午前10時30分	